

「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

施策の方向性	(1) 家庭における食育の推進	H30	R5
		基準値	目標値
検証指標項目	食育に関心がある市民の割合	77.1%	90%
	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	9回	現状維持
取り組むべき施策	1) 「食卓」の重要性についての啓発		
	2) 食を楽しむことについての啓発		
	3) 男女共同参画による食育の推進		

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	継続実施	子ども政策課
2	乳幼児パパママ教室	保育所、幼稚園、子育てグループ等へ講師を派遣し、家庭教育についての学習機会の提供	実施	継続実施	子ども支援課
3	乳児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施	実施	継続実施	各区保健子ども課
4	幼児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施	実施	継続実施	各区保健子ども課
5	育児相談	乳幼児の健康、食生活、歯科について相談を実施	参加者数 3,161人	継続実施	各区保健子ども課
6	妊産婦健康相談	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	参加者数 3,293人	継続実施	各区保健子ども課
7	妊婦健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.6%	100%	子ども政策課
8	妊婦一般健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	100%	子ども政策課 各区保健子ども課
9	3か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.0%	100%	子ども政策課
10	7か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 96.0%	100%	子ども政策課

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
11	3・7か月健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	100%	子ども政策課
12	1歳6か月児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 98.0%	100%	子ども政策課
13	3歳児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 97.1%	100%	子ども政策課
14	乳幼児経過観察健診	子どもの発育・発達状況に応じた指導を実施	受診率 72.2%	100%	子ども政策課
15	保育所給食見学	楽しく食べることの重要性や方法を、親子での保育体験を通して、給食見学や試食から学ぶ	実施	継続実施	子ども支援課 子育て支援センター
16	小児生活習慣病予防検診	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施 (評価指数: 肥満度20%以上の児童の割合)	小学生 7.7% 中学生 8.0%	減少	健康教育課
	育児教室	4～5か月の子を持つ保護者に対して、離乳食の進め方や発育についての講座を実施	休止中		子ども政策課 各区保健子ども課
	もうすぐパパママ教室	妊娠期、授乳期の食生活や生活習慣等について講座を実施	休止中		子ども政策課 各区保健子ども課
	ピカピカカミカミ教室	幼児期のむし歯予防のための、ブラッシング、食習慣、おやつについて講座を実施	休止中		子ども政策課 各区保健子ども課

関係団体・機関 (抜粋)

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	社団法人全国調理師養成施設協会が毎年実施する「食育教室」 親子で調理実習や食に関するクイズを通して、五感で感じる食の楽しさを体験する。またクイズを通して、食の大切さや知識を深める。(親子14組35人参加)	シェフパティシエ学院
2	男性料理教室 地域の男性を集め、コミュニティセンター等で「男性料理教室」を開催し、料理をする技術を身に付け、栄養に関する知識を得る。(弓削、桜井、山本、東町、出水南校区等で実施)	食生活改善推進員協議会

「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

* H29年度の実績値

施策の方向性	(2)生涯にわたる食育の推進	H30	R5	
		基準値	目標値	
検証指標項目	1週間あたりの朝食について 幼児は「毎日食べる割合」、 他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	97.3%	100%
		小学5年生	1.7%	0%
		中学2年生	4.2%	0%
		若い世代 [20,30歳代]	18.5%	10%以下
		65歳以上	3.4%	0%
	体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	* 100%	100%
		私立	* 87.2%	
	体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	* 100%	100%
		私立	* 100%	
	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合		* 94.0%	100%
企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)		* 20件	30件	
取り組むべき施策	4) 子どもの頃からの体験を通じた食育			
	5) 保育所・幼稚園・学校等における食育の推進			
	6) 若い世代や働きざかりに対する食育の推進			
	7) 高齢者に対する食育の推進			
	8) 給食を活用した食育の推進			

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	保育所での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 93.0%	100%	保育幼稚園課
2	保育所給食における展示食の実施	日々の給食内容を保護者に知らせ、保護者の給食への関心の高め、食について親子での会話を促す	実施率 76.5%	85%	保育幼稚園課
3	「食育だより」の発行	献立表と一緒に、毎月「食育だより」を家庭に向け発信し、食育を推進	実施率 93.4%	100%	保育幼稚園課
4	保護者の保育参観	保育所給食の試食と、保育所給食についての説明等を実施	実施率 79.3%	85%	保育幼稚園課
5	大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
6	働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
7	高齢者のための食育実践講座	フレイル対策等のための、望ましい食生活の進め方について講話を実施	実施	継続実施	各区保健子ども課

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
8	介護予防教室	低栄養予防、食生活改善のための健康教育等を実施 啓発パンフレットの作成と配付	実施回数 1,249回	継続実施	高齢福祉課
9	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集の作成	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	実施	継続実施	健康教育課
10	「給食だより」「食育だより」の発行	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	発行校の割合 100%	継続実施	健康教育課
11	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	実施	継続実施	健康教育課
12	健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	実施	継続実施	健康教育課
13	わくわく楽しい学校給食作品展	給食に関する児童生徒の作品を展示	実施	継続実施	健康教育課

関係団体・機関 (抜粋)

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	体験出前授業 小学校5年生、中学生を対象に水稻授業を実施。種まき、田植え、稲刈り体験までのお米の授業を行い、体験型の食育活動を実施。	熊本市農業協同組合(JA熊本市)
2	食育訪問 保育園、幼稚園等の園児に料理を振る舞い、御馳走様の意味や、行儀よく食べる、楽しく食べる、いろんな人に感謝して食べる等の話を実施。	(公社)全日本司厨士協会西日本地方熊本県本部 熊本支部

健全な食生活を実践するための環境整備

* H29実績値

施策の方向性	(1)健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信	H30	R5
		基準値	目標値
検証指標 項目	企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)[再掲]	* 20件	30件
	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 ほぼ毎日食べている市民の割合	76.1%	85%
	若い世代 [20,30歳代]	64.0%	75%
	栄養に関する表示等を参考にしてしている市民の割合	63.4%	80%
取り組むべき 施策	9) 「食事バランスガイド」「食育ガイド」等を活用した食生活の実践への支援	34.3%	50%
	10) 生活習慣病予防等についての啓発	22.5%	25%
	若い世代 [20,30歳代]		

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	ふれあい出前講座	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き講話や実習等を行う	15回	継続実施	生涯学習課
2	すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 51,359人	60,559人	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	食事バランスガイドの啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、食事バランスガイドの啓発を行い、日本型食生活の定着を図る	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
5	健康教育 (40～64歳)	健康づくりや生活習慣病予防に関する知識の普及と啓発を実施	参加人数 7,520人	継続実施	各区保健子ども課
6	健康相談 (40～64歳)	個人の生活習慣や食習慣に応じた、健康づくりや生活習慣病予防、生活習慣病の重症化予防に関する助言・相談を実施	参加人数 4,037人	継続実施	各区保健子ども課
7	【再掲 - (2)】 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
8	【再掲 - (2)】 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課

関係団体・機関（抜粋）

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	<p>栄養連携システム</p> <p>CKD対策かかりつけ医と栄養士との栄養連携システム。診療所等からの依頼を受け、栄養士会会員を診療所等に紹介し、非常勤職員として栄養指導を実施。</p>	<p>公益社団法人 熊本県栄養士会</p>
2	<p>食と心身のつながり、食事のリズムや内容についての教室や指導（職域）</p> <p>熊本市の事業所を対象に、ベストコンディションを目指し、特定保健指導（積極的支援及び動機付け支援） 健診後事後指導 セミナー の実施。</p>	<p>公益財団法人熊 本県総合保健セ ンター</p>

健全な食生活を実践するための環境整備

* H29実績値

施策の方向性	(2) 食生活改善をサポートする人材の育成	H30	R5
		基準値	目標値
検証指標項目	食育の推進に関するボランティア数	* 1,536人	1,850人
取り組むべき施策	11) 管理栄養士・栄養士、専門的知識を有する人材の育成と活用の促進		
	12) 食生活改善推進員等、地域支援者の育成		

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	公衆栄養の場における、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 40人	継続実施	各区保健子ども課
2		実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 43人	継続実施	健康教育課
3	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援	受入数 7人	継続実施	指導課 健康教育課
4	栄養管理、調理師対象の研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	開催数 2回	2回	食品保健課
5	食育担当者等研修会の実施	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催	参加者数 202人	継続実施	健康教育課
6	栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	授業力向上等の研修会を実施	参加者数 67人	継続実施	健康教育課
7	地域歯科保健研修会の実施	歯と口腔の健康づくりを総合的に支援する環境の整備に取り組むため、保健関係者等が、一同に会し、連携強化を図る	1回 81人	継続実施	健康づくり推進課
8	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー)	食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成	養成数 72人	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	食生活改善推進員研修会	ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得	53回 2,001人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
11	8020推進員育成講座	8020運動を推進する市民ボランティアの育成	養成数 79人	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健子ども課

関係団体・機関 (抜粋)

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	各種研修会等の受講により食育に関する知識や情報の習得 職員のキャリアアップ研修として、食物アレルギーについての研修会の受講や、食育に関する情報の取得や各種研修会への参加を促す。	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会
2	尚綱ガールズトマトレシピコンテスト トマトを使ったオリジナル料理(主食または主菜) + 1品(サラダ、スープ等)の作品募集。 優秀作品5品を学食で提供。(学生応募総数199点)	尚綱大学・尚綱大学短期大学部

健全な食生活を実践するための環境整備

施策の方向性		(3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進	H30	R5
			基準値	目標値
検証指標項目		「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	250店舗
取り組むべき施策	13) 飲食店や食品販売店におけるヘルシーメニューの提供促進			
	14) 食品工場見学等、体験を通じた食育の推進			
	15) 事業者等に対する食育の普及啓発の促進			
	16) 事業者から発信する食育			

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業	市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	食品関連事業者向け研修会の開催	食品関連事業者が、食育を推進するための情報や知識を得るための研修会の開催	H30は実施なし	実施	健康づくり推進課
3	【再掲 - (1)】 栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	栄養に関する表示実施支援	栄養に関する表示支援事業を実施する食品関連事業者等に対して技術的支援を行う	休止中		健康づくり推進課 各区保健子ども課 食品保健課

関係団体・機関 (抜粋)

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	市場見学会 消費者に対して、田崎市場に対する理解を深め、市場に興味を持ち、食に関する情報を得ることができるよう開催。(H30年度実績 参加者数18団体、500人)	(株)熊本地方卸売市場

市民運動としての食育の展開

施策の方向性	(1) 市民協働による食育運動の展開	H30	R5
		基準値	目標値
検証指標項目	食育に関心がある市民の割合【再掲】	77.1%	90%
取り組むべき施策	17) 食育に関する機運の醸成		
	18) 関係団体と連携した食育運動の展開		

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	食育月間等における啓発	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	熊本市民健康フェスティバル	食育に関する情報提供や啓発活動を実施	来場者数 9,359人	継続実施	健康づくり推進課
3	農産物フェア	農畜産物の展示即売及び生産者と消費者の触れ合いの場を創出	実施	継続実施	農水ブランド戦略室
4	ホームページ「くまもとの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 97,299人	増加	食品保健課 健康づくり推進課
5	食育に関する全市的広報	市政だより、ラジオ等を使った市民への啓発	7回	継続実施	健康づくり推進課
6	イベント時に、若い世代への健康に関する啓発	若い世代に、食育、歯科、ライフプラン、がん検診、性感染症等について啓発	実施	継続実施	健康づくり推進課 感染症対策課
7	【再掲 - (2)】食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
8	食生活改善推進員地区組織活動	食生活改善推進員が、地域で食を通じたボランティア活動を実施	活動件数 45,049件	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	8020推進員地域活動支援事業	8020推進員による地域ボランティア活動の実施	支援件数 969件	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課

関係団体・機関（抜粋）

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	<p>わんぱく祭り 食育パネルの展示、食育ゲーム、食育絵本の読み聞かせ、牛乳パックでの栽培体験等を行い、子どもや保護者の食への関心を高める。</p>	一般社団法人熊本市保育園連盟
2	<p>食育・健康フェスティバル 一般市民や学生を対象に、食育シンポジウム、食育の日メニューの提供、連携団体マルシェ等を行い、広く市民に食育を啓発する。</p>	熊本県立大学

市民運動としての食育の展開

* H29年度の実績値

施策の方向性	(2) 食育支援団体のネットワークの整備	H30	R5
		基準値	目標値
検証指標 項目	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	* 62.6%	70%
取り組むべき施策	19) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化		

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する	開催数 4回	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
2	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	子どもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開	加入団体数 394団体	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会	ネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催	参加者数 181人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会	区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催	参加者数 626人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課

関係団体・機関（抜粋）

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	子育てサークル、赤ちゃん訪問等での食育啓発 子どもの食育推進ネットワークに登録、参加し、保護者に対して「食育」についての情報提供を行うなど、日ごろの活動の中で食育の普及啓発に努めた。	熊本市民生委員 児童委員協議会
2	子どもの食育推進ネットワーク 各区の地域研修会に会員を派遣し、地域の食育に携わる他職種と連携し、子どもの食育推進に取り組んでいる。	公益社団法人熊 本県栄養士会

市民運動としての食育の展開

* H29年度の実績値

施策の方向性	(3) 地域における食育の推進	* H29年度の実績値		
		H30 基準値	R5 目標値	
検証指標 項目	体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	* 100%	100%
		私立	* 87.2%	
	体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	* 100%	100%
		私立	* 100%	
	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等の数)		605 (H28実績 値)	776
	取り組むべき施策	20) 世帯構造や生活の多様性をふまえた食育		

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	介護予防事業	【短期集中予防サービス】 栄養状態、運動及び口腔機能低下者を 早期に発見し、悪化防止のための指導 を実施	R1.10より 実施予定	継続実施	高齢福祉課 各区福祉課
2	子ども食堂への支援	子ども食堂の開設及び運営に対する助 成を実施することで、子どもたちの居場 所づくり等を支援	新規	継続実施	子ども政策課
3	保育園児と地域住民 との交流会	団子汁会や芋煮会など郷土食の継承と ともに、食を通じた繋がり場を作る	実施	継続実施	保育幼稚園課
4	幼児期の共食の重要 性の啓発	1歳6か月児健康診査等において、共食 についての啓発資料の配布	R1.10より 実施予定	継続実施	健康づくり推進 課 各区保健子ども 課
5	子どもだけで食事す ることが「ほとんどな い」家庭の増加	3歳児健康診査受診前質問票で、「ほと んどない」との回答者を増加させる	85.2%	88.0%	健康づくり推進 課 各区保健子ども 課

関係団体・機関 (抜粋)

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	食育推進のための地域貢献活動 JA女性部部員の畑を借り、子ども食堂へ贈呈する野菜を春と秋に栽培。年間3回2か所の 子ども食堂に提供している。	熊本市農業協同 組合(JA熊本市)
2	シニアカフェ 高齢者の低栄養予防や閉じこもりによる孤立化を防ぐため、簡単な運動や料理を一緒に つくり食べる、共食の機会を提供する。	食生活改善推進 員協議会

くまとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性	(1)生産者と消費者の交流促進	H30	R5
		基準値	目標値
検証指標項目	農林漁業体験を経験した市民の割合	32.5%	50%
取り組むべき施策	21) 生産者と消費者の交流会の開催		
	22) 農林漁業体験を通じた食育活動の推進		

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	生産者との給食交流会	給食物資の生産者と児童・生徒との交流と会食を実施し、食育の推進を図る	実施	継続実施	健康教育課
2	食農体験事業	収穫、調理など体験型の事業展開を通して、食と農の理解促進を図る	実施	継続実施	農水ブランド戦略室
3	すこやか交流広場管理運営事業	子ども農園の貸付や植え付け祭、収穫祭等のイベントを開催し、世代間交流を促進	農園利用率 76%	100%	健康福祉政策課
4	学校農園等での栽培活動	学校農園、休耕田、プランター等を活用し、栽培、収穫等を体験する	実施率 100%	100%	指導課
5	市民(小学生等)と水産業との交流促進	市民と漁業者との交流を通じ、水産業の紹介、漁業体験活動等を推進	参加者数 75人	継続実施	水産振興センター

関係団体・機関 (抜粋)

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	あぐりキッズスクール 小学生に、農業や食の大切さを伝えるための取組。野菜収穫体験、味噌作り、ミルクアイス作り体験、野菜選果施設見学等を年8回実施。	熊本市農業協同組合(JA熊本市)
2	食育の日 イベント (株)西田精麦、熊本農業高校と連携し、大麦を使った大学生考案のメニューを学食で提供。大麦をきっかけに食への意識を高める機会とした。	熊本県立大学

くまとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

* H29年度の実績値

施策の方向性	(2) 地産地消の促進	H30	R5
		基準値	目標値
検証指標項目	進んで地元農産物を購入する市民の割合	73.8%	80%
	市内における農産物直売所の販売額	2,936百万円	3,339百万円
	学校給食における地元農産物の使用割合	* 38.2%	43%
取り組むべき施策	23) 「くまもとらしさ」を活かした地産地消の推進		
	24) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進		

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	「ひご野菜」の認知度向上及び普及拡大	熊本に因むストーリーが展開できる野菜を掘り起こし、観光と連携した地産地消の展開を図る	啓発活動の実施	継続実施	農水ブランド戦略室
2	農産物直売所支援	直売所で組織する「熊本市農産物直売所連絡協議会」の活動を通じ、周年栽培の取組や合同販売会等の実施により、直売所間のネットワーク強化や販売促進を図る	直売所数 17箇所	増加	農水ブランド戦略室
3	SNSを活用した熊本市農水産物のPR	農水局フェイスブックや市ツイッターを活用し、熊本市の農水産物について情報を発信	実施	継続実施	農業政策課 各区農業振興課 水産振興センター
4	学校栄養職員等の生産地視察	学校給食使用農産物の生産地を視察し、食育に活用	実施	継続実施	健康教育課
5	給食における地元産物の利用と地産地消の推進	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	継続実施	保育幼稚園課
6		毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付	県産品率 38.2%	43%	健康教育課

関係団体・機関 (抜粋)

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	田崎市場感謝祭 市場内を一般開放し、水産物や青果物を消費者に直接販売。併せて各種イベントを開催し、地産地消や食の安全安心に理解を深めてもらう機会とした。(H30年度実績 参加者約5万人)	(株)熊本地方卸売市場
2	熊本市産焼海苔の提供 熊本市内の小中学校に、3,500枚の焼海苔を配付し、市産海苔のPRを行った。	熊本市漁業後継者クラブ

くまとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性		(3)くまとの食文化の伝承	H30	R5
			基準値	目標値
検証指標項目		家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	69.9%	80%
取り組むべき施策	25) 伝統料理や郷土料理に関する情報提供の推進			
	26) 関係団体との連携による食文化伝承に関わる活動の促進			

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	郷土料理の食のホームページ掲載	郷土料理、祭事料理をホームページ「くまとの食」に掲載し発信	実施	継続実施	健康づくり推進課
2	郷土料理を掲載した給食レシピ集の発行	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	実施	継続実施	健康教育課
3	給食における郷土料理の実施と啓発活動	学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	実施小中学校 100%	100%	健康教育課
4		豆だご等の郷土料理を給食献立に取り入れ広く保育所等へ発信すると共に、食育だより等に掲載し家庭へも情報提供を行う	実施	継続実施	保育幼稚園課
5	【再掲 - (3)】 保育園児と地域住民との交流会	地域住民との交流会で、団子汁会や芋煮会を行い、郷土食を伝承	実施	継続実施	保育幼稚園課

関係団体・機関 (抜粋)

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	郷土料理教室 県立第二高校、千原台高校等で、郷土料理教室を行い食文化の伝承を行った。また東部中学校では、いきなり団子を一緒に作った。(19回、737人)	食生活改善推進員協議会
2	魚のさばき方・熊本漁師飯教室 天草地区漁業士会を講師として、1人1尾ずつ鯛をさばき、3枚卸にし、鯛のにぎり寿司、鯛のあら煮、うしお汁等を作った。	尚綱大学・尚綱大学短期大学部

くまとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性	(4) 食の循環や環境を意識した食育の推進	H30	R5
		基準値	目標値
検証指標項目	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	74.6%	85%
	若い世代 [20,30歳代]	68.5%	75%
	②1 熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.7%	85%
②2 「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	200店舗	
取り組むべき施策	27) 食育を通じた環境保全		
	28) 環境保全体験を通じた食育活動の推進		

行政

	主な取り組み	取り組み内容	H30実績値	R5目標値	担当課
1	環境にやさしい店の推進	ごみ減量リサイクルの推進に積極的に取り組む小売店を環境にやさしい店「よかエコショップ」と認定し広報	認定店舗数 149店舗	増加	環境政策課 (温暖化・エネルギー対策室)
2	水質監視	地下水等に関する水質監視	監視率 100%	100%	水保全課
3	広域水保全対策	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する	参加人数 (台風のため中止)	200人	水保全課
4	小学校への副読本の配布	小学4年生へ、社会科副読本として、ごみ事情をやさしく解説した「ごみとりサイクル」を作成し、配布	配布数 7,500人	7,000人	ごみ減量推進課
5	生ごみ減量対策	「生ごみにしない」、「出てしまった生ごみをいかに減量するか」に重点をおき、生ごみ減量に取り組む(評価指数:新たに生ごみ減量化に取り組んだ人数)	1,220人	1,200人	ごみ減量推進課
6	環境保全に関する市民啓発	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う	参加人数 3,590人	増加	環境総合センター
7	環境にやさしい農業の推進	エコファーマ、有作くん等、環境にやさしい農家の戸数	経営体数 1,625	2,090	農業支援課

関係団体・機関 (抜粋)

	取り組み状況	関係機関・団体名
1	生ごみのたい肥化 調理実習で排出された生ごみを処理機で乾燥させる。たい肥は中学技術の野菜栽培に活用する。生ごみも減らし、食品ロスも削減する取組。	尚綱高等学校
2	エコレシビチャレンジ講座 エコレシビの調理実習を行い、生ごみ減量に効果のあるエコレシビを普及啓発し、市民に普段の生活で無駄(ごみ)を出さない習慣を身につけてもらう。	食生活改善推進員協議会

